



個人投資家向け 会社説明会

2024年12月11日

OILES オイレス工業株式会社

東証プライム

証券コード：6282



代表取締役社長

坂入 良和 Yoshikazu Sakairi

1 | 会社概要

2 | 事業内容

3 | 成長戦略

4 | 株主還元

5 | インフォメーション

6 | ご参考資料 ～Appendix～

会社概要

会社概要

※特に記載ない限り
2024/9月末時点



| | |
|----------|-----------------------|
| 会社名 | オイレス工業株式会社 |
| 本社 | 神奈川県藤沢市桐原町8番地 |
| 設立 | 1952年（昭和27年）3月11日 |
| 資本金 | 85億8,500万円 |
| 発行済み株式総数 | 33,300,505株 |
| 決算期 | 3月 売上高及び営業利益共に過去最高 |
| 連結売上高 | 687億円（2024年3月期） |
| 従業員数 | 1,126名（連結2,584名） |
| 連結子会社数 | 16社（国内8社 海外8社） |
| 上場証券取引所 | 東京プライム（証券コード：6282） |

世界シェア（2023年当社試算）



数々の日本初・世界初に貢献



オイレス工業本社(神奈川県)

1986年
日本初
LRBを用いた免震構造ビル



宮川橋(静岡県)

1991年
日本初
LRBを用いた免震橋梁



通天閣(大阪府)

2015年
世界初
免震タワー

売上高研究開発費率



4%

産業財産権



特許3,572件
うち外国特許1,655件




公式キャラクター

オスビー

オイルレスベアリングの総合メーカーとして
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する

To become a world leader as a general manufacturer of
oil-less bearings and serve society through technology

長期ビジョン
OILES 2030 VISION

サステナブルな社会の実現を、
摩擦・摩耗・振動の技術  で貢献する

コア技術であるトライボロジー&ダンピング
(摩擦・摩耗・振動) 技術でさらなる企業価値向上

「新技術・新規事業創出」と「基盤強化」

1939

- 創業者 川崎宗造が個人経営による
日本オイルレスベアリング研究所創設
- オイルレスベアリングの製造販売開始

1952
創業

- 株式会社日本オイルレスベアリング研究所設立

1962

- 橋梁用支承要部「オイルレスベアリングプレート」の製造販売開始

1971

- 排煙/換気窓用開閉装置「ウィンドウオペレーター」の製造販売開始

1976

- 米国に海外初めての現地法人「Oiles America Corporation」を設立

1987

- 株式を東京証券取引所第一部に指定

1997

- 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

2021

- 監査等委員会設置会社へ移行

2022

創立
70周年

- 当社藤沢事業場にNP棟 (New Production Engineering Plastics) 開設

2024

すべては小さな木質軸受からはじまった

あらゆるところで採用されています（ごく一部です）



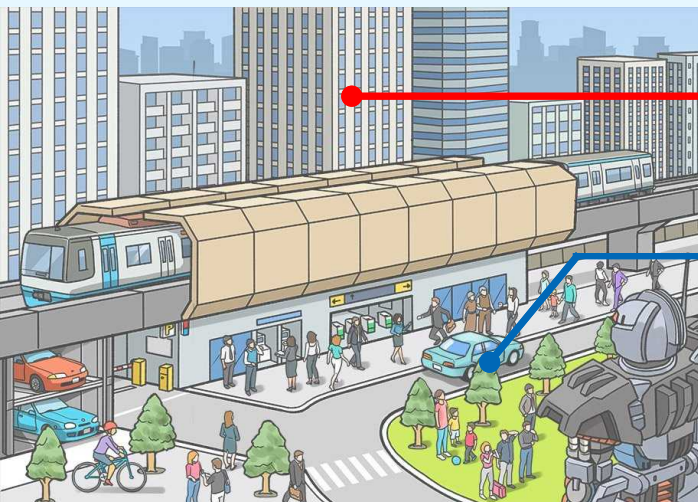
軸受



免制震



建築



ビル



自動車

風力発電



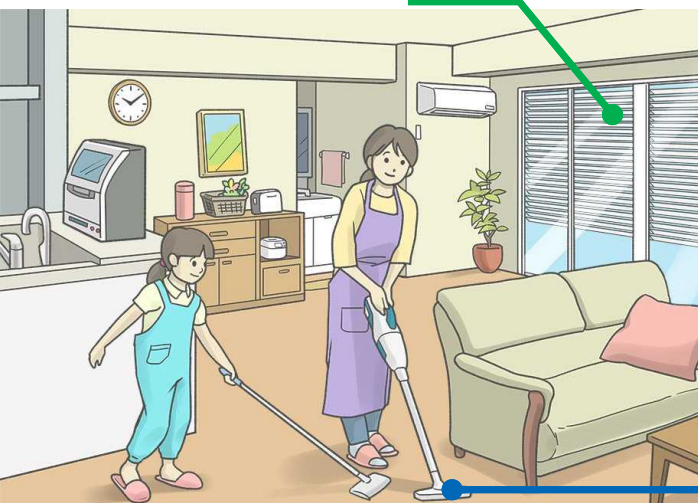
倉庫



窓



天窓

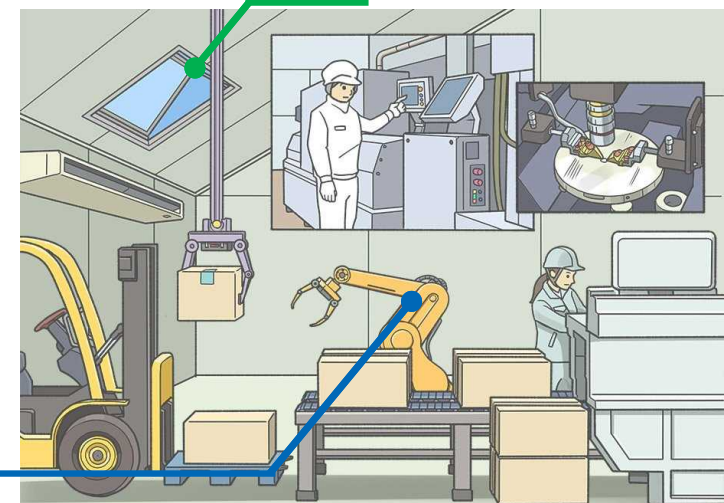


掃除機

地下



ロボット



もし軸受（ベアリング）がなかったら



軸受がある

ペダルを漕ぐ時は軽く
ハンドルもすぐ切れる



自転車

軸受がない

ペダルを漕ぐ時は重く
ハンドルを切るのに力が必要



ドアの開け閉めは滑らか
音も静か



ドア

ドアの開け閉めは力が必要
音も金属同士の不快な音

稼働時の音が静かで発熱せず
ヘッドの吸引力も安定

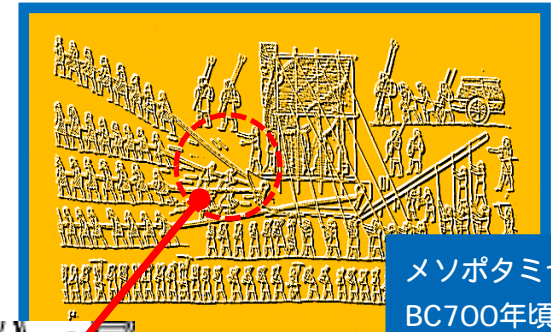


掃除機

稼働時の音がうるさく、発熱
ヘッドの吸引力が不安定

起源 軸受技術の基礎

約2,700年前から・・・

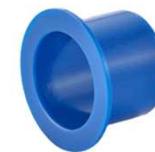


メソポタミヤ文明
BC700年頃 レリーフ



「物を運ぶ際に丸太の上を
転がしている様子」が見られる

→ 重いものを少ない力で効率的に
運んでいた



古代から続く軸受（ベアリング）技術が
人知れず私たちの生活に **不可欠**

オイルスベアリングとは



世の中には大きく分けて 2 種類の軸受があります。



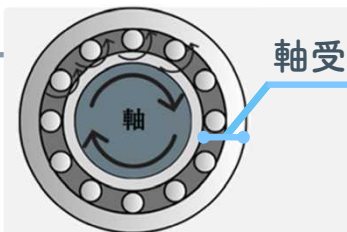
転がり軸受

輪っかの中に、玉やころが挟まっていて、その玉やころが転がることで、摩擦を減らしてスムーズに動くことができる部品。

高速

高精度

標準化

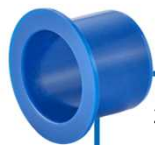
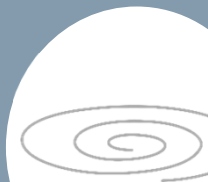


簡単に示すと

| | |
|----|------------------|
| 軸 | } 3つで軸受 玉が転がる |
| 内輪 | |
| 玉 | |
| 外輪 | |

どこに使われている？

- 高速で回転するところ
- 重くないところ



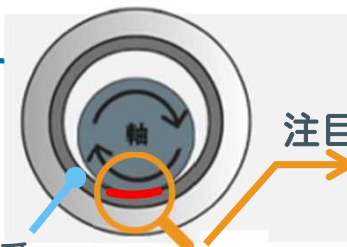
すべり軸受

機械の軸を支え、スムーズな回転や動きを可能にする部品。軸と面の間に油や空気が入り、機械の動きをスムーズにする。

軽い

コンパクト

自由度高い



簡単に示すと

| | |
|------|------------------------------|
| 軸 | } 軸と軸受が 直接触れない 油の補充が必要 |
| 油/空気 | |
| 軸受 | |

POINT すべりが**オイルス**

どこに使われている？

- 異物が入るところ
- 少しだけ動くところ
- 高温/低温なところ



✓ オイルスベアリングはすべり軸受の一種

POINT 油が**必要ない**

オイルスベアリングは登録商標



材料に油を含ませる



潤滑剤を直接
軸受に埋める

オイレスの強み



市場創造型 企業

- 「**技術で社会に貢献する**」という創業者精神が現代にも継承され、社会課題やお客様の課題を解決することで、我々がナンバーワンになるのではなくお客様をナンバーワンにするためのオンリーワン企業を目指します。
(お客様と共に世界初・世界一へ)

事業ポート フォリオ

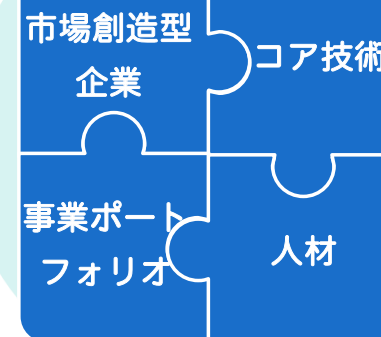
- どこにも属さない**独立系メーカー**で、自動車、エネルギー・インフラ関係、建設など多様な“成長産業”が事業領域です。
- 軸受・免制震・建築の全ての事業が**環境負荷低減**につながり、**社会貢献性の高いビジネス**を推進しています。

コア技術

- 70年以上**にわたり摩擦・摩耗・潤滑の「**トライボロジー**」と振動制御の「**ダンピング**」の技術をコアとして極め続けています。
- 特許件数は**累計3,500件以上**、売上高の**約4～5%**を研究開発に投下しています。

人材

- TDS**(テクニカルダイレクトセールス)という当社の特長的な営業手法で、お客様の製品開発の初期段階から営業部門と技術部門が連携して参画し、お客様の製品開発の課題を解決します。
- EK**(営業研究)という当社特有の手法で、お客様に代行して、より実機に近い形でシステム評価をおこなうことで、お客様にとってより効果的で最適な提案をします。



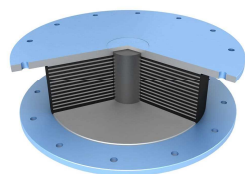
事業内容

事業ポートフォリオ（売上高構成）



一般軸受事業

生産設備から家庭用製品まで
自動車以外の領域で軸受を提供



ビルや橋梁などに免震装置
や制震装置を提供

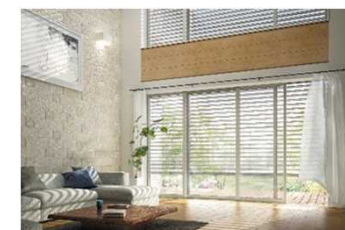


構造機器事業



自動車軸受事業

自動車や二輪車の領域で
軸受を提供



高層ビルから住宅に排煙・換気
装置や外付ブラインドを提供

建築機器事業

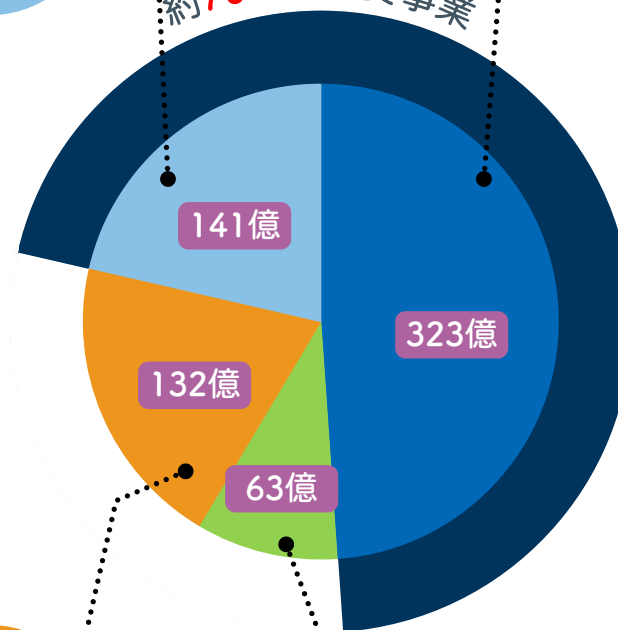
20.6%

47.1%

19.3%

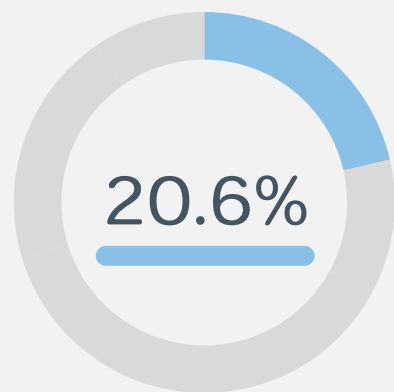
9.3%

約70%が軸受事業

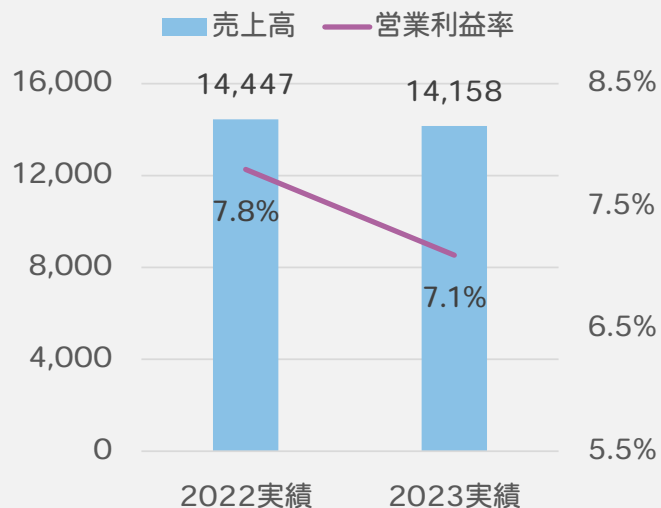


一般軸受事業とは

セグメント別売上高比率



(百万円)



樹脂軸受



プラスチック

油や潤滑剤などを材料に混ぜており、唯一無二の樹脂材料を製造。

複層軸受



異なる材料を合わせたもの

二種類以上の異なる材料で構成しており、コンパクトにすることが可能。

金属軸受



金属

金属材料に潤滑剤を埋め込むことで油を使わずに使用することが可能。

POINT

多種多様な

長年の

組み合わせの

材料

データ

ノウハウ

オイルスベアリング

異なる材料を混合・組み合わせ、新素材を開発し、樹脂や金属を使用した多様な製品を提案可能。
暮らしのあらゆる所で使用するため、**100種類以上**の材料を揃えています。

戦略製品と成長市場



戦略製品 × 成長市場



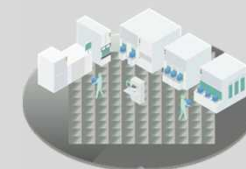
半永久的

超クリーン

オイルスエアベアリング

薄い空気の層を作り浮かせて使う軸受。接触しないで使うため、半永久的に使用できる。また、正確な位置に止めることや超高速での使用が可能。

→ 成長市場「半導体関連」に注力
半導体製造装置などの精密機器に需要有り



戦略製品

バイオマス



サトウキビやトウモロコシなどの植物を原材料とした軸受は、光合成でCO₂を吸収するため、廃棄時のCO₂排出量はゼロ。

樹脂は本来 "石油"由来

CO₂削減

成長市場



水力・風力発電などの再生可能エネルギー市場において、国内含め、北米、欧州、インドなど海外市場にも積極的に拡販。

再生可能 エネルギー

→ 海外市場の拡大

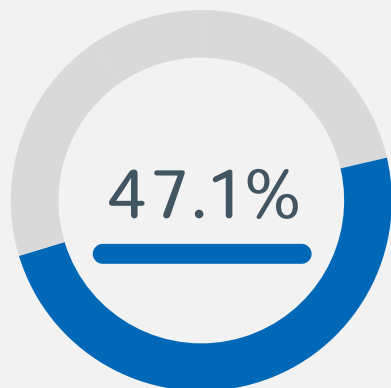
バイオリイト

BIOLIGHT

→ 環境性能と高性能を兼ね備え
カーボンニュートラルに貢献

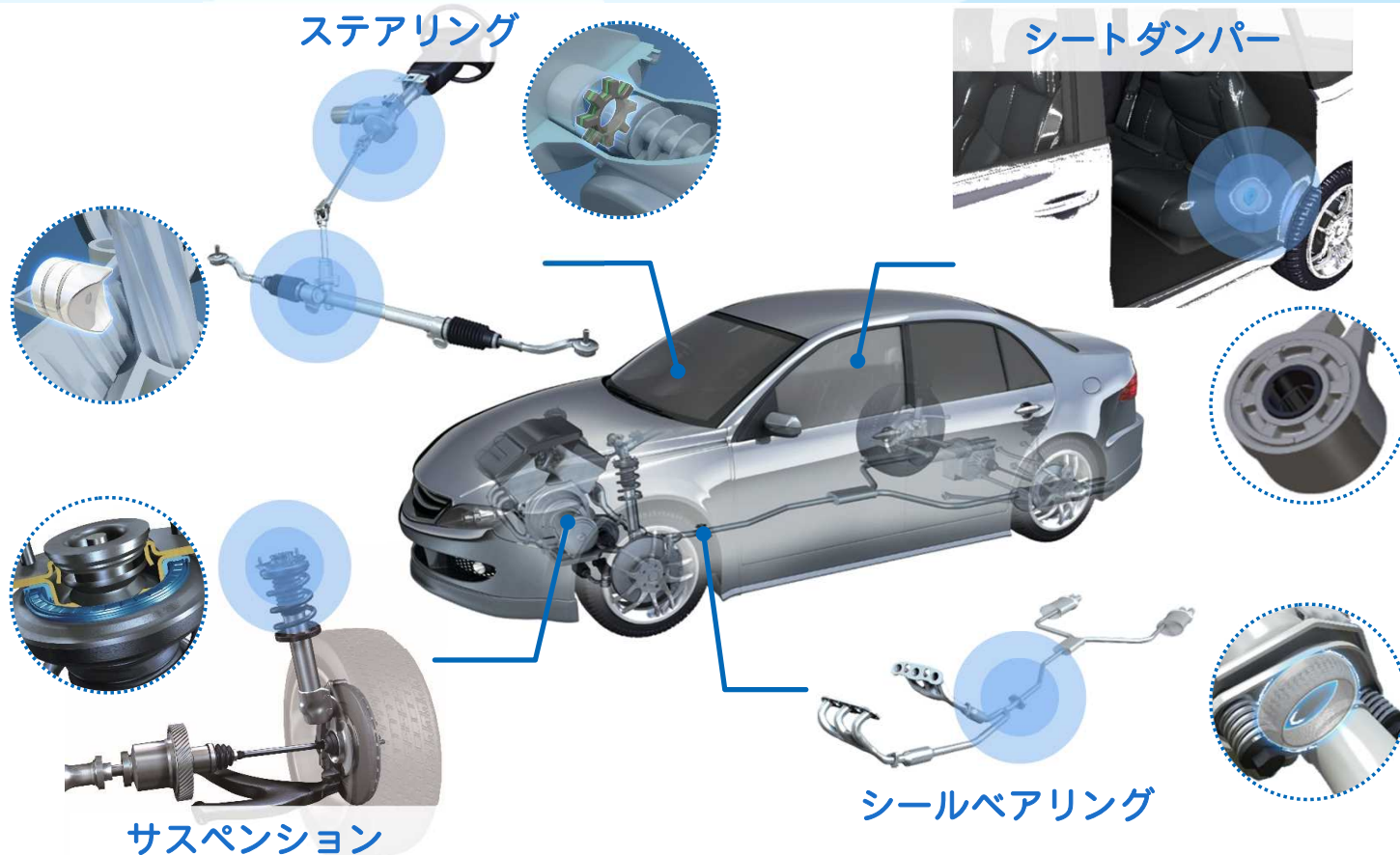
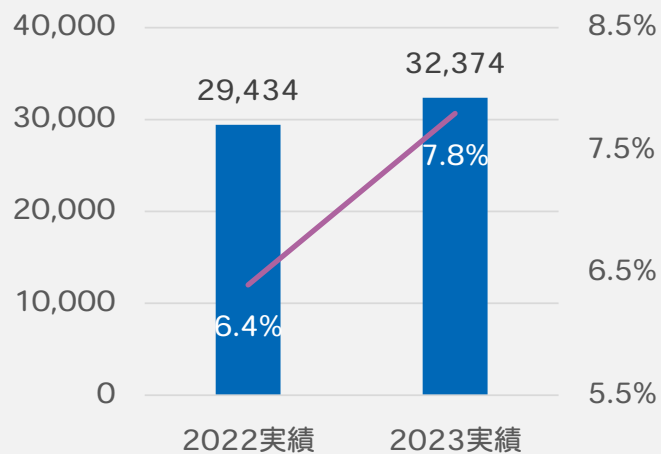
自動車軸受事業とは

セグメント別売上高比率



(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益率



自動車の「走る・曲がる・止まる」や静粛性・乗り心地向上に貢献しています。近年では拡大しているEVの航続距離を伸ばすための車両軽量化に小型かつ軽量のオイレスベアリングが大きく貢献しています。

主要客先と取り組みについて



国内 **全** 自動車メーカー

海外 **主要** 自動車メーカー

完成車メーカー

Tier 1
主要構成部品
メーカー

Tier 2
構成部品メーカー

Tier 3
部品メーカー

直接

当社



間接

* 電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、燃料電池車（FCEV）を指す

自動車業界における変革の象徴となる4つの領域「CASE」において
“自動化”と“電動化”に焦点を据えて貢献する製品を提供していきます。

貢献できる課題

求められる機能性

提供する
ソリューション

航続距離向上

電費向上

→ 車載装置軽量化

高強度化

電池容量UP

→ 車載装置小型化

高面圧対応

空調・温調性能
向上

省電力化

低摩擦化

高出力化

高面圧対応

長寿命化

耐摩耗性

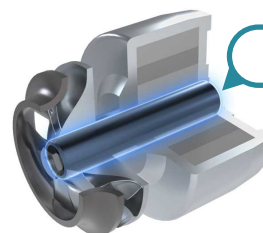
静粛性向上

騒音対策

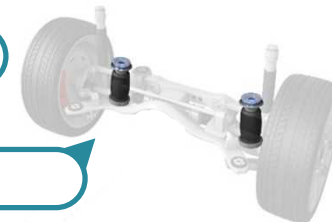
低振動化

振動対策

高精度化



電費向上、長寿命化



電費向上

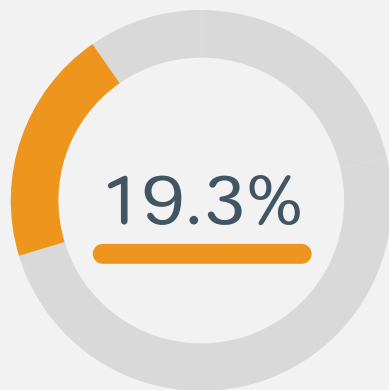
電動ウォーターポンプ用軸受

新エネ※車向けサスペンション用軸受

免制震事業とは

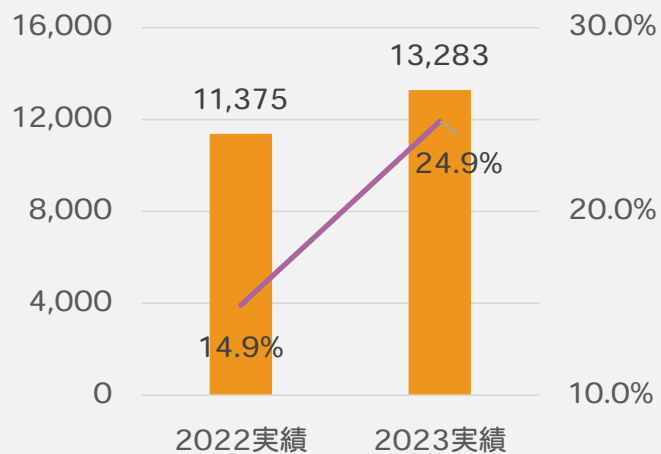


セグメント別売上高比率



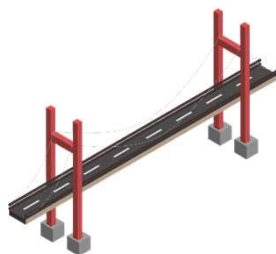
(百万円)

売上高 営業利益率



橋梁、いわゆる橋向けと建物向けの免震や制震製品を扱っています。

橋 梁



実績

3,700 橋以上

人や車、電車などが通る橋桁は、通行時や地震による振動のほか風による影響からも守っています。

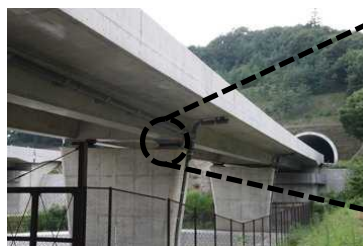
建 築



実績

2,000 棟以上

地震や風による影響に対して、集合住宅やオフィスビル、病院や庁舎などのインフラまで多くの建物を守っています。



北関東道 大岩第一橋 (栃木県)



LRB (免震支承)



オイレス工業 TC棟 (神奈川県)

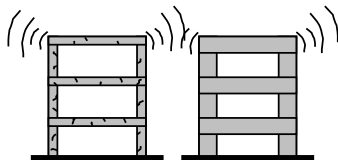
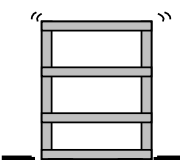
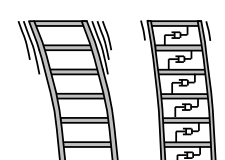


LRB (免震支承)

免制震事業とは



当社事業領域

| | 耐震 | 免震 | | 制震 |
|------|---|--|---|----|
| |  |  |  | |
| 特長 | ✕ 地震の力に耐える | ◎ 地震の力を逃がす | ○ 地震の力を吸収する | |
| 揺れ | ✕ 大きく揺れる | ◎ 揺れが直接伝わらないため、長く小さく揺れる | ○ 揺れを吸収するため、長く小さく揺れる | |
| 家財破損 | ✕ 可能性高い | ◎ 可能性極めて低い | ○ 可能性低い | |

主な重点市場

ロジスティクスセンター

物流拠点の中心的な役割を担う大型施設に対し、免震装置があることで、地震などの自然災害が起きても求められる機能を維持する



データセンター

私たちの生活に欠かせないデータを守るために免震装置があることで、地震などの自然災害からデータを安全に守り、インフラを守る



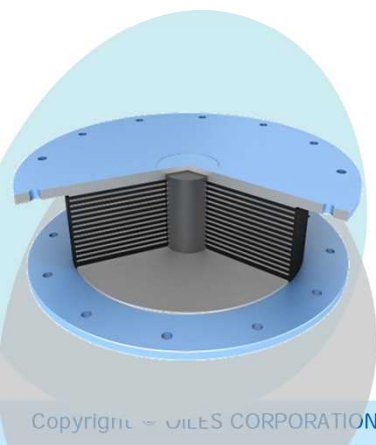
高速道路複線化

災害時の代替路線として複線が求められ、免震装置があることで、橋梁の損傷防止や倒壊などから守り、緊急時のインフラを守る



実は ✓ 日本の免震・制震の パイオニア

日本で初めて免震装置である「LRB」を技術導入し、生産技術を確立。自然災害（地震/強風）から人々の命や財産を守る重責を果たしてます。



採用物件

建築物

麻布台ヒルズ



中ノ島フェスティバルタワー



通天閣



橋梁

東京湾アクアライン



伊良部大橋



三越本店



三菱一号館



日本銀行本館 本店



レトロフィット

既存建物に免震装置を後付けして
デザイン/機能を損なわずに強化・補強

古い建物を地震に強くする

建築機器事業（オイレスECO株式会社）とは

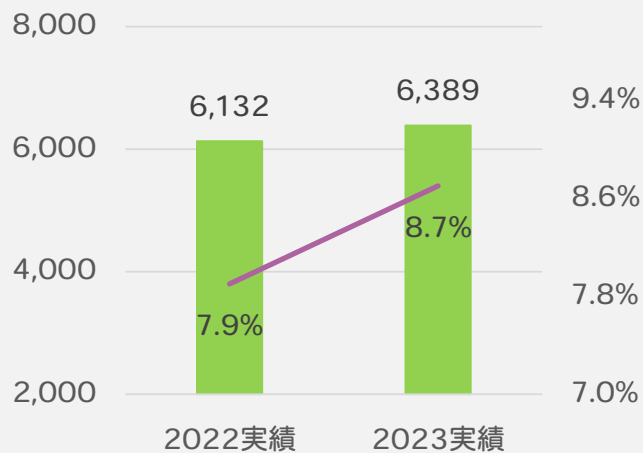


セグメント別売上高比率

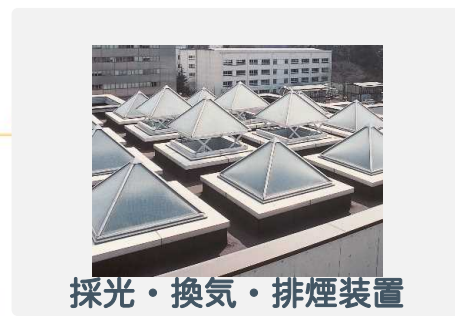
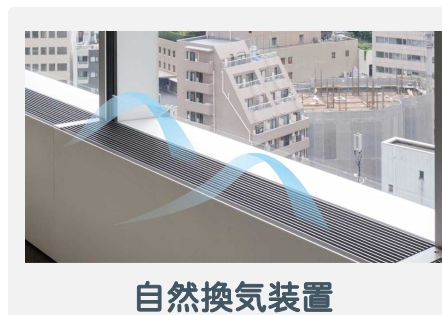
9.3%

(百万円)

売上高 営業利益率



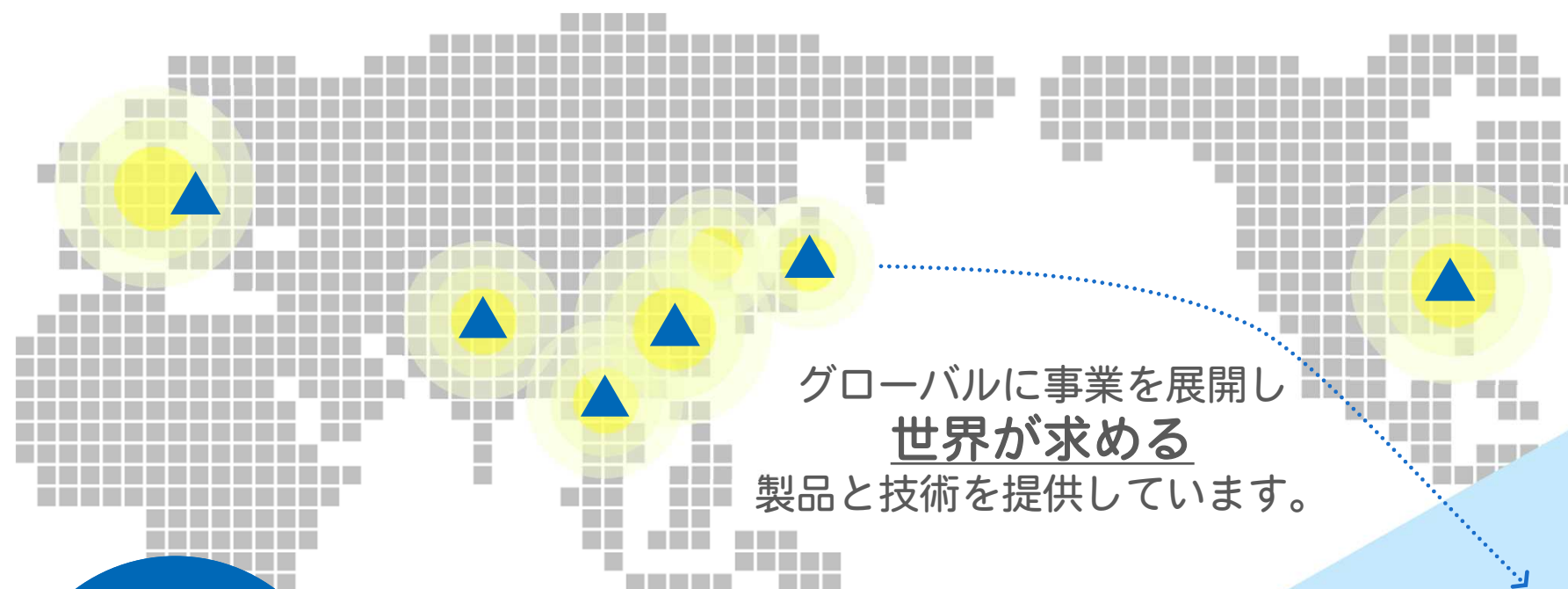
火災で最も多い死因の“煙”をすばやく排出する窓の開閉装置は、近年の換気需要も重なり用途と需要が拡大。冷暖房の効率化や快適性のニーズに応える自然換気装置や日射熱を遮り防犯効果も高い外付ブラインドを扱っています。



オイレスECOのウェブサイトもぜひご覧ください。



営業拠点 ●
生産拠点 ▲ ▲
(赤：本社兼)



海外売上高比率

36%

ドイツ・チェコ・インド・タイ
中国・韓国・アメリカ
の幅広いエリアに拠点設置

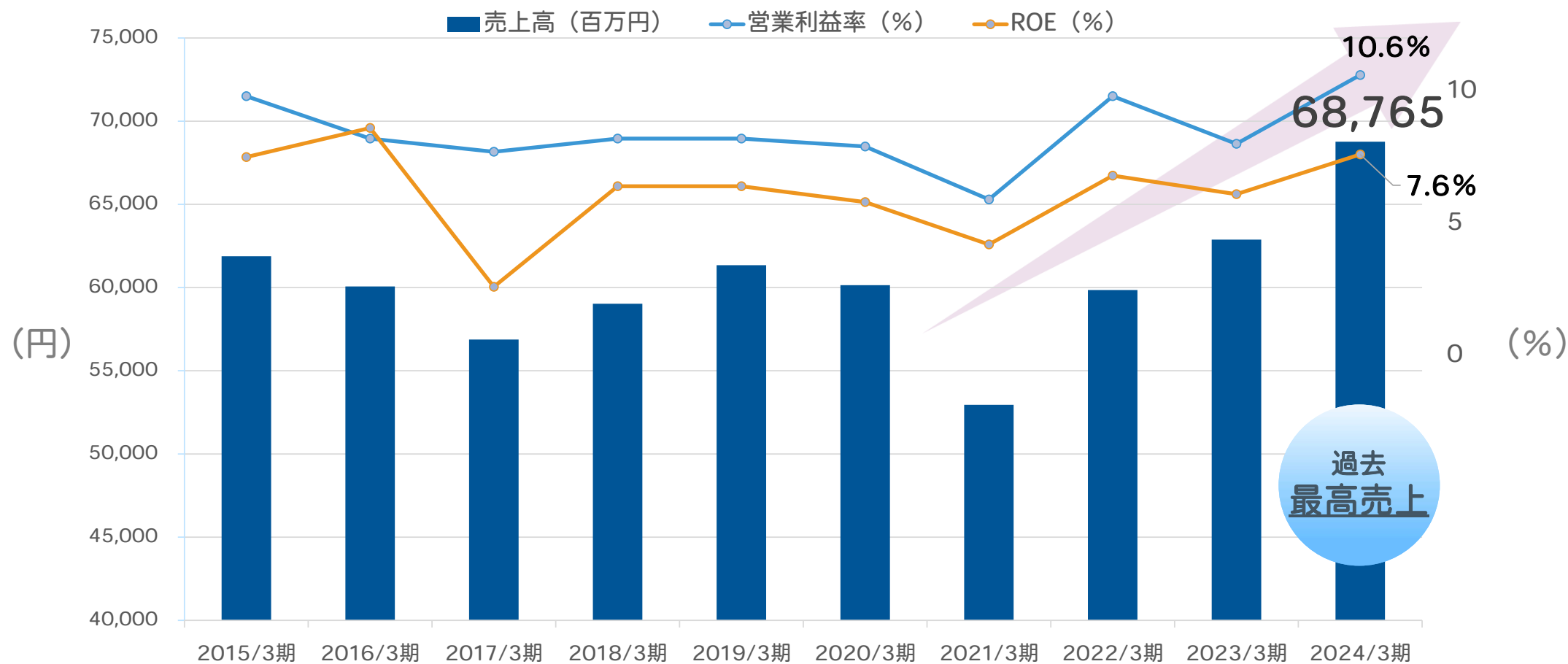


成長戦略

業績10年推移



コロナ禍前の売上高以上に回復し、2024年3月期に **過去最高売上高** を達成



経営理念に基づき OILES 2030 VISIONへ向けた
持続的成長と企業価値向上を目指します

「変革」と「進化」への強い決意 とともに

オイルレスベアリングの総合メーカーとして
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する

『サステナブルな社会の実現を、
摩擦・摩耗・振動の技術 **+X** で貢献する』

「新技術・新規事業創出」と「基盤強化」

中期経営計画2024-2026



成長投資



生産性向上



企業価値向上



財務運営

- ① 次世代の飛躍成長を実現するために、成長市場へ経営資源を全力投球
- ② 業務改革と生産技術の追求によって、全部門が生産性を向上する
- ③ すべてのステークホルダーに貢献する企業価値向上
- ④ 資本効率性を意識した財務運営

OILES 2030 VISION

中計資料再掲



長期ビジョン OILES 2030 VISION

『サステナブルな社会の実現を、
摩擦・摩耗・振動の技術 $+X$ で貢献する』

コア技術であるトライボロジー&ダンピング
(摩擦・摩耗・振動) 技術でさらなる企業価値向上

「新技術・新規事業創出」と「基盤強化」

中期経営計画2024-2026

OILES 2030 VISION の達成を見据えた中期経営方針



次世代への
成長投資



生産性向上



ステークホルダー
に貢献する
企業価値向上



資本効率性を
意識した財務運営

定量指標

| | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|------|---------------------|--------------------------|--------------------------|
| 売上高 | 677億円 | 712億円 | 750億円 |
| 営業利益 | 57億円 (コア収益※91億円) | 63.5億円 (コア収益※103.5億円) | 73.5億円 (コア収益※118.5億円) |
| ROE | — | — | 8.0%以上 |

OILES 2030 VISION 経営目標

- 営業利益率15%以上
- ROE10%以上

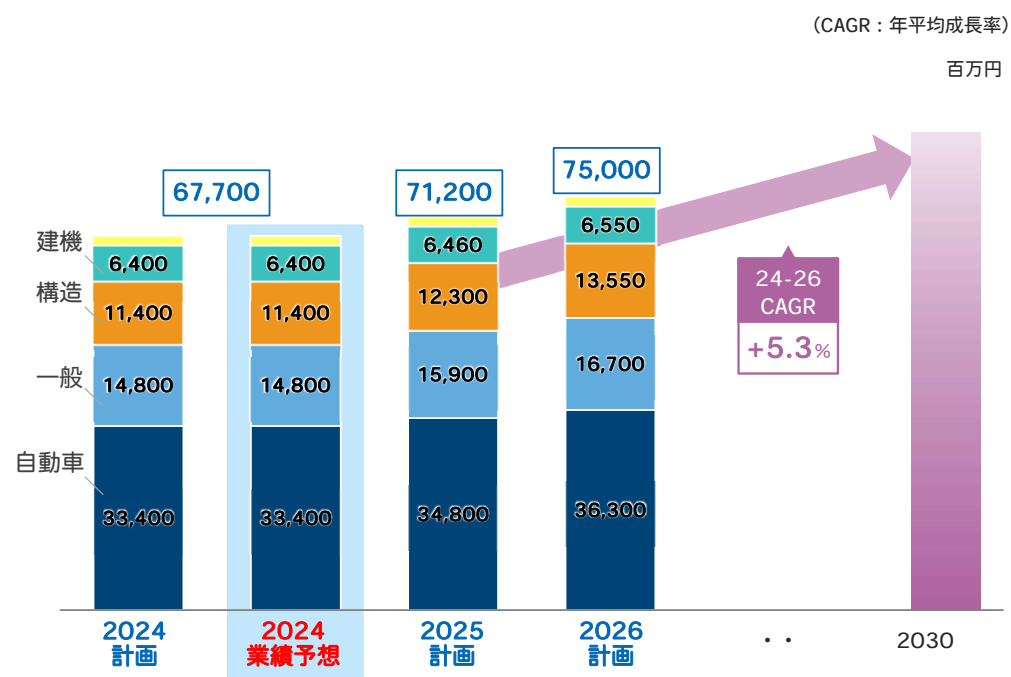
サステナブルな社会の実現に貢献し
持続的成長と企業価値向上を目指す

中計3ヵ年 連結数値目標

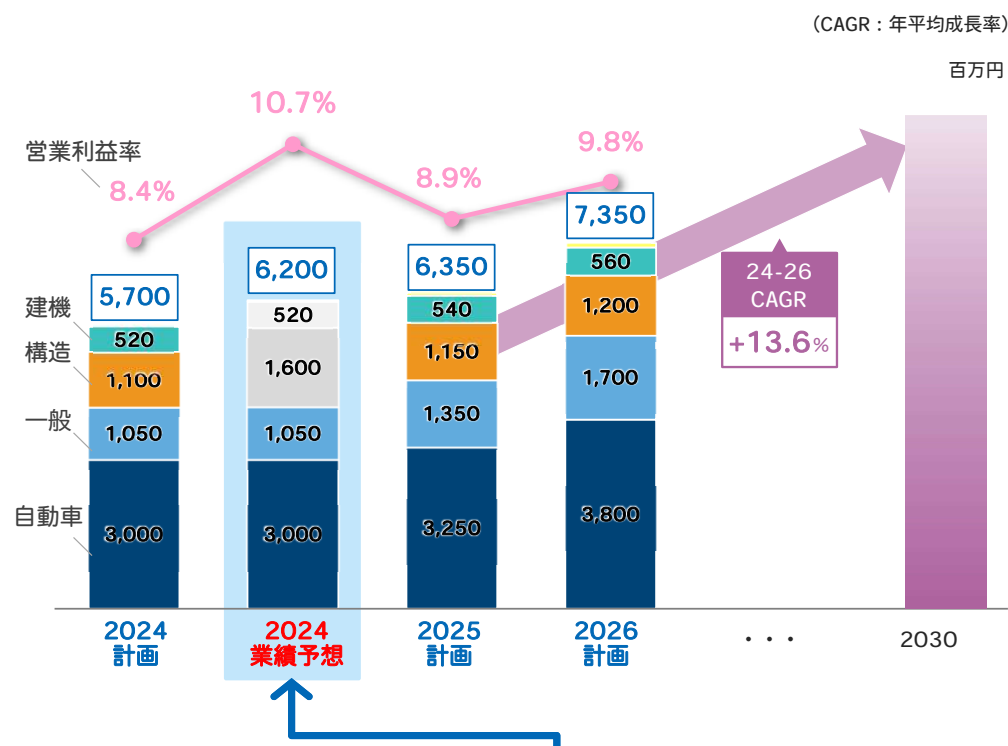


■ :自動車軸受 ■ :一般軸受 ■ :構造機器 ■ :建築機器 ■ :その他 ● :営業利益率

売上高推移



営業利益推移



2024年11月8日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示。営業利益を5億円上方修正してます。

中計3ヵ年 事業分野ごとの取り組み状況



一般軸受

成長市場への活動強化

*1 FPD=Flat Panel Display

*2 2030年度までに1兆ドル規模
(2023年度比2倍) に達すると予測

○ エレクトロニクス市場向けオイレスエアベアリング

2026年度（中計最終年度）に売上高 **2 倍増** を計画



構造機器

免制震需要の獲得拡大

○ 免震ゴム製品の販売強化、性能評価能力の増強



大型試験機
・厳格化する検査基準への対応
・2027年夏完成予定

自動車軸受

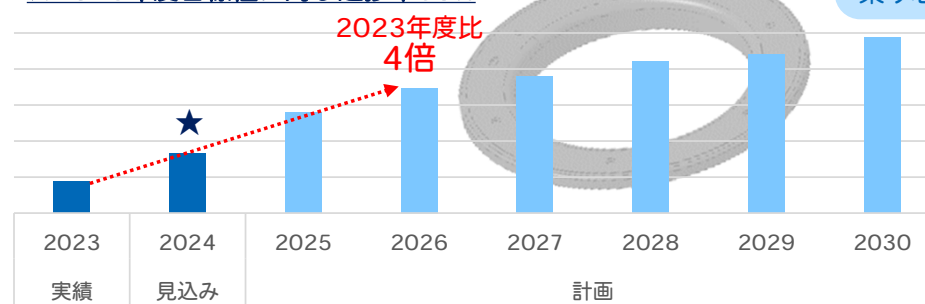
EV・自動化に対応した新製品開発

※電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、燃料電池車（FCEV）

○ 新エネ車※向けサスペンション用ベアリング

2026年度（中計最終年度）に売上高 **4 倍増** を計画

★2026年度目標値に対し進捗率50%



熱マネジメント

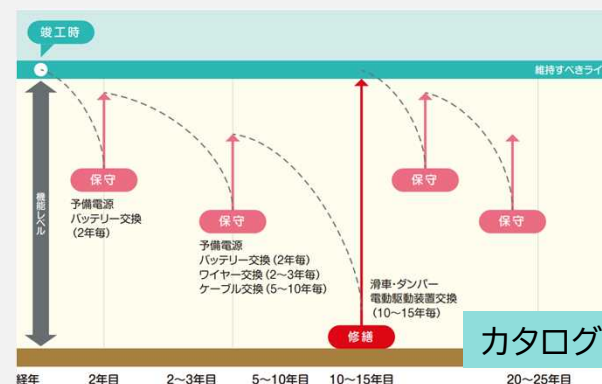
省エネ

乗り心地向上

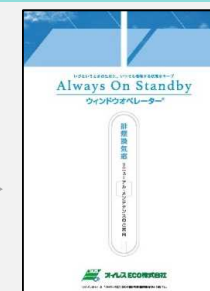
建築機器

リニューアル・リフォーム市場強化

○ 新築市場のシェアを守りつつ、建物の長寿命化にともない増加するリニューアル市場へ積極展開



修理・故障・メンテナンス
専用カタログ



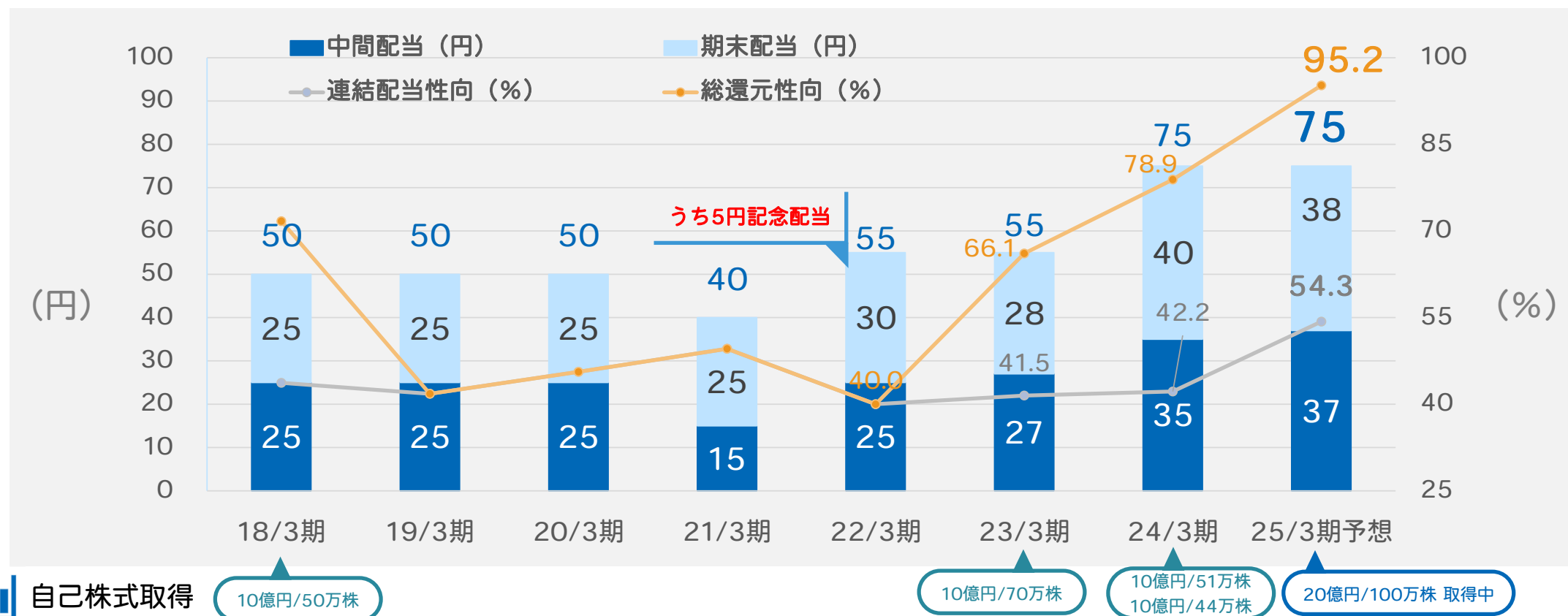
カタログ一部抜粋

株主還元



株主還元方針

安定的かつ継続的な配当を基本とし、連結配当性向40%以上を目指しております。
自己株式の取得についても長期的な成長のための内部留保を総合的に勘案し、市場動向を踏まえ機動的な対応を検討します。



自己株式取得

10億円/50万株

10億円/70万株

10億円/51万株
10億円/44万株

20億円/100万株 取得中

株主優待



導入目的

当社株式への投資の魅力を高め、**中長期的に保有していただける株主さまの増加をはかることを目的に株主優待制度を導入**

対象株主

毎年3月末日の当社株主名簿に記載又は記録された当社株式を**3単元（300株）以上**保有する株主様



内容

保有する株式数及び保有期間に応じてポイントが加算され、「**オイレス工業プレミアム優待倶楽部**」において**4,000点以上の厳選された商品**からお好きな商品（例：食品・酒類・電化製品・ギフト・旅行・体験など）に交換することができます。また、社会貢献活動への寄付も可能となっております。

| 保有株式数 | 初年度 | 2年目以降 |
|-----------|------------|------------|
| 300株～499株 | 5,000ポイント | 7,000ポイント |
| 500株～799株 | 10,000ポイント | 13,000ポイント |
| 800株～999株 | 15,000ポイント | 18,000ポイント |
| 1,000株～ | 20,000ポイント | 22,000ポイント |

インフォメーション

工場見学会のご案内



| | |
|-------|---|
| 開催日時 | 2025年1月24日（金） ①10:00～12:25 ②14:30～16:55 |
| 開催場所 | 弊社藤沢事業場（神奈川県藤沢市） ※最寄り駅：小田急江ノ島線「湘南台駅」 相鉄いずみの線「湘南台駅」 横浜市営地下鉄「湘南台駅」 |
| 人数 | 各回20名（計40名） |
| 当日の流れ | 会社説明～工場見学～質疑応答 |
| 見どころ | 当社の主力製品である樹脂や金属の軸受に加えて、 日本初のLRBを使用した免震構造ビルの地下にて、 実際の免震装置をご覧いただけます。 |
| 備考 | ・ 申し込み期限：12月25日（水） ・ <u>応募が多数寄せられた場合には、</u> <u>抽選とさせていただきます。</u> ご了承願います。 |



当社藤沢事業場



こちらからご応募ください



WEB

ご参考資料

Appendix

ウェブサイト情報



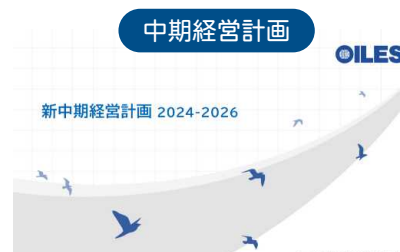
＜当社コーポレートサイトのご案内＞

<https://www.oiles.co.jp/>



IRサイトのご紹介

オイレスとは 製品 イノベーション サステナビリティ 株主・投資家情報 採用 お問い合わせ



2024年度から2026年度を対象とする「中期経営計画2024-2026」や2030年度をマイルストーンとする長期ビジョン「OILES 2030 VISION」を掲載

IRライブラリー

2024年3月期

| | 決算短信 | 有価証券報告書・四半期報告書 | 株主通信 | 決算説明会 |
|-------|------------------------|-----------------------|------------------------|--|
| 通期 | 決算短信 📄 | 報告書 📄 | | 決算説明会資料 📄 決算説明会動画 📺 |
| 第1四半期 | 決算短信 📄 | 報告書 📄 | | |
| 第2四半期 | 決算短信 📄 | 報告書 📄 | 株主通信 📄 | 決算説明会資料 📄 決算説明会動画 📺 |
| 第3四半期 | 決算短信 📄 | 報告書 📄 | | |

配当金を受け 株主になると

保有している株式数に応じて、配当金を受け取ることができます。当社は、通期における業績と今後の業績予想を踏まえ、期末の配当の他に、中間の第2回実施することができるよう定款に定めております。当社は、将来の経営基盤強化のための投資と株主の皆様への利益還元等を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を基本方針としております。

1株当たり配当金の推移



- ✓ 決算短信
- ✓ 有価証券報告書/四半期報告書
- ✓ 株主通信
- ✓ 決算説明会資料/動画

配当状況や株主優待などの株主還元譲歩、株主通信や株主総会などの各種情報を掲載。

サステナビリティ情報



Environment

■環境配慮

- ・国内外全ての生産拠点においてISO14001を取得
- ・藤沢事業場NP棟屋上に太陽光発電設備を設置
- ・新入社員に向けてサステナビリティ及びカーボンニュートラルについての講義実施

■自然との共生

- ・絶滅危惧種である藤沢めだかの飼育・繁殖



Governance

- 監査等委員会設置会社への移行によるガバナンス強化
- 月1回コンプライアンス啓蒙活動の実施

Social

■人的資本

- ・人権方針の策定
- ・年1回ハラスメント防止研修の実施
- ・健康経営優良法人2年連続取得
- ・子育てサポート認定くるみん「1つ星」取得
- ・女性活躍推進認定えるぼし「2段階目」取得

■地域貢献

- ・子供向けワークショップ（藤沢・滋賀）
- ・大分県親子サッカーナイター大会協賛
- ・大分県中津市少年野球大会協賛
- ・国内4工場における献血の実施
- ・令和6年能登半島への義援金寄付
- ・赤い羽根共同募金
- ・琵琶湖の清掃活動



WEB

「オイレスの取り組み」ページもぜひご覧ください。

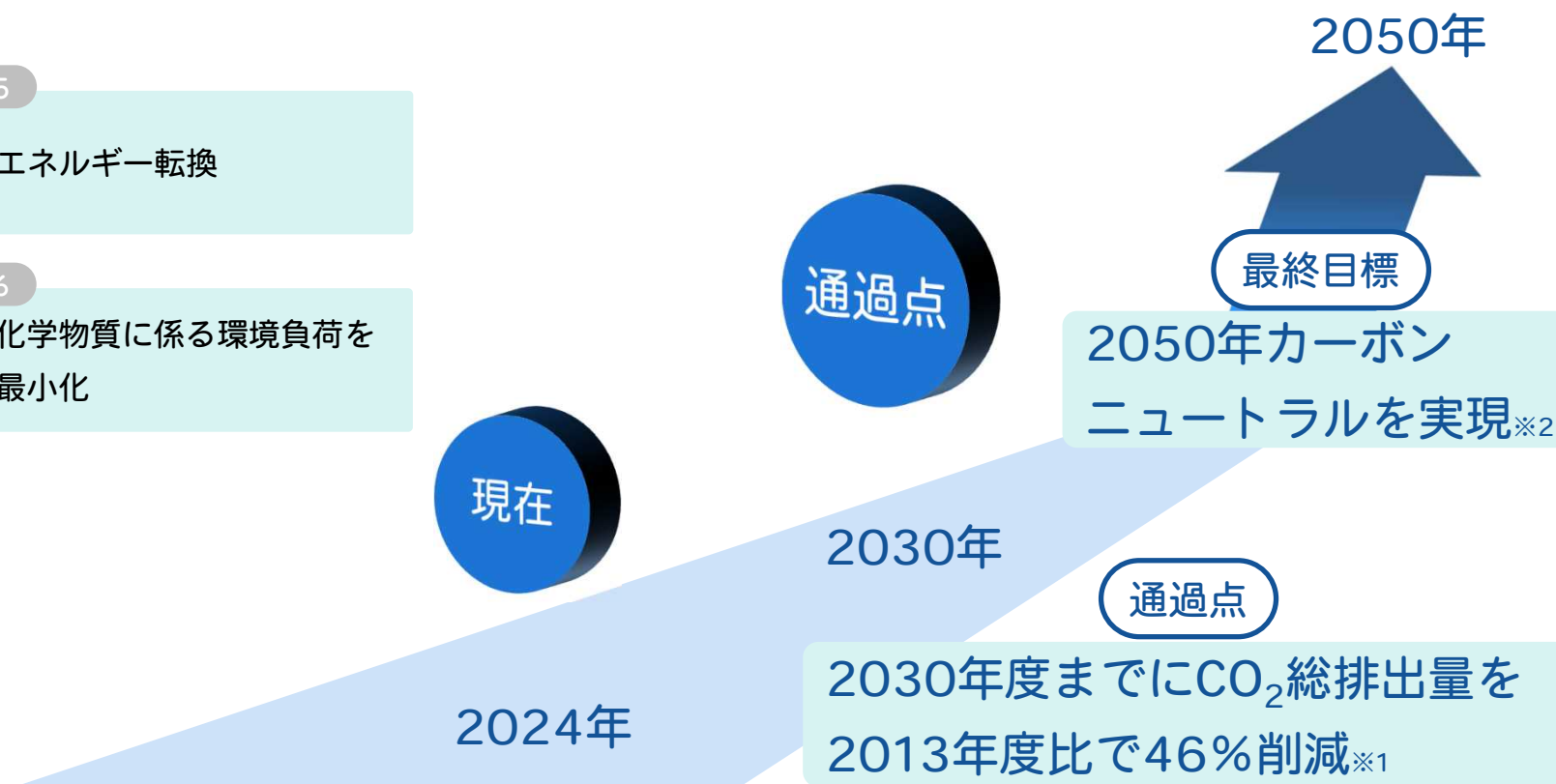
2050年カーボンニュートラルに向けて



環境負荷低減を実現する製品や技術を提供し、低炭素・循環型社会の実現に向けて取り組みます。

取り組み

- 1 バイオマスプラスチック
軸受による環境負荷低減
- 2 エネルギーの可視化と
省エネの徹底
- 3 再生可能エネルギーの導入
- 4 化学物質の適正管理
- 5 エネルギー転換
- 6 化学物質に係る環境負荷を
最小化



※1. 対象は国内生産拠点の自社排出量（Scope1、Scope2） ※2. 対象はグループ全体の自社排出量（Scope1、Scope2）

企業広告他



OILES

オイレス工業 新社長に聞く未来への抱負

**コア技術を進化させ続け
サステナブルな社会に貢献**

オイレス工業
代表取締役社長
坂内 良和

「製造業の未来は、デジタル技術の進化と、サステナブルな社会の実現にあります。オイレス工業は、コア技術を進化させ続け、サステナブルな社会に貢献していきます。」

History & Core Technology
オイレス工業の歴史とコア技術

「製造業の未来は、デジタル技術の進化と、サステナブルな社会の実現にあります。オイレス工業は、コア技術を進化させ続け、サステナブルな社会に貢献していきます。」

オイレス工業の未来

オイレス工業は、未来の製造業をリードしていきます。コア技術を進化させ、サステナブルな社会に貢献していきます。

オイレス工業株式会社
https://www.oiles.co.jp/

株主手帳

2024年12月号
社長インタビュー記事
A4（3ページ）



事業構想

2025年1月号
社長インタビュー記事
A4（2ページ）



日本経済
新聞

2024年4月18日
社長インタビュー記事
1面（15段）カラー広告



工学院大学

2024年9月
社長インタビュー記事
ウェブサイト



バレーボール

ジェイテクト STINGS 愛知
ユニフォームパートナー



長距離駅伝

東海大学長距離駅伝チーム
スポンサー契約



私たちは、スポーツ活動への協賛を通じて地域の活性化に貢献したい思いがあり、
各種スポーツ活動への協賛をおこなっております。



オイルレスベアリングの総合メーカーとして
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する



質疑応答

【Q1】 海外売上高比率36%のうち、大半が自動車軸受事業を占める中、免制震事業の海外市場についてはどのように考えていますか？

地震多発国である台湾に対し、既に中低層建物（～10階）向けの新製品投入しており、これを足掛かりに現地企業と連携して台湾市場での拡販のためのプロジェクトを推進中である。

【Q2】メンテナンス需要について教えてください。

メンテナンス需要については、免制震事業では高度経済成長期に建設された橋梁が既に50年以上経過し、老朽化が進んでいることから、改築や修理のタイミングで免震装置を供給する機会が増えている。建築機器の排煙窓に関しては、本来火災時排煙のための開閉が目的であったが、コロナ禍を経て、建物の換気需要も高まっており、リニューアルの需要が増加している。

【Q3】 免制震事業において、地震多発国である中南米諸国への進出は考えているか？

まずは、プロジェクトが始動した台湾市場への注力を優先し、その実績を踏まえて、更なる海外展開を検討したい。

【Q4】説明内容とは直接関係ないが、今期の業績が減収減益であることの背景を教えてください。

昨年度は、免制震事業における大型プロジェクトが寄与し売上高や営業利益を過去最高に押し上げた。
今期は、昨年度比で同規模のプロジェクトが実施されていないため、単純比較では減収減益となった。

【Q5】次期アメリカ大統領選挙の結果を受けて懸念されていることがあれば教えてください。

関税関係への影響を懸念している。米国製造拠点では、概ね現地調達が出来る体制を整えているが、一部の材料や他の海外拠点から輸入している部品について、関税上昇に伴う製造原価に影響が懸念される。

【Q6】 中国への依存度はどの程度ありますでしょうか？

海外売上高比率36%のうち、最も比率が高いのは中国市場。自動車軸受事業では、日系メーカーだけでなく現地のローカルメーカーにも幅広く採用されており、この上期、日系メーカーの売上が落ち込む中でも、当社は他の部品メーカーに比べてその影響を抑えることができた。

【Q7】 DXの推進と生産性向上、人材育成について教えてください。

DXについては、生産事業部にDX推進室を設置し、デジタル化を積極的に推進しており、具体的には、品質関連の帳票をデジタル化して分析することで、品質のさらなる向上を目指している。また、製品の生産性向上を図るための取り組みも進行中である。また、人材育成については、人的資本への対応強化の観点から、今年度も従業員教育制度の見直しを行っており、管理職研修の強化や、次代を担う幹部候補を育成するためのプログラムを導入している。

【Q8】自動車軸受事業におけるEV（電気自動車）関連の採用部位はどの部分であり、また、これらの部位を通じてどのように売上拡大を図りますでしょうか？

当社製品は、シャシー系・サスペンション系・ステアリング系・内装系など、ほぼ全ての部位でEV（電気自動車）への継続的な採用が見込まれている。特にEVにおいては、サスペンション用軸受の部位ですべり軸受による軽量化と電池消費量の削減に貢献し、航続距離の延伸に繋がることが期待される。また、電池の冷却装置用ウォーターポンプ向け軸受など、新たな用途にも新材料を開発し、採用拡大を目指している。

本資料の利用に関する注意事項



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によっておこないますようお願いいたします。
本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。
また、本資料に記載されている当社及び当企業グループ以外の企業などにかかわる情報は信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性などについて保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

取締役 執行役員 企画管理本部長 米山 操



0466-44-4901(代表)



Oiles-ir@oiles.co.jp



<https://www.oiles.co.jp/>



公式キャラクター

オスビー